



7月7日

## 鈴愛と律の誕生日に商店街が復活

昨年放送された連続テレビ小説「半分、青い。」の舞台となった岩村町の西町商店街で、鈴愛と律の誕生日に、ふくろう商店街七夕まつりが開催されました。1日限定でロケセットが再現。岐阜犬やそよ風ファンなどの小道具の展示も行われました。

スペシャルトークステージでは、木田原五郎役を務めた高木渉さんが登場。「朝ドラの撮影は長期間に及び、出演者同士が仲良くなった」と撮影秘話を披露。「久しぶりに岩村を訪れたが、おかえりと声を掛けてもらい嬉しかった」などと話しました。商店街は、トークショーを楽しむ来場者など3千人の人出でにぎわいました。



7月2日

## 夏秋トマトの出荷が始まっています

市夏秋トマト生産協議会役員が市役所を訪れ、夏秋トマトの出荷が始まったことを報告。同会長の井口さんが「例年以上の出荷をしたい」と意気込みを話しました。

同役員の出原さんは「米作と比べ、トマトは機械化されていない。手間が掛かる反面、生産者の思いをつぎ込めます」と、梅本さんは「毎日の食卓に上がるようなおいしいトマトを作りたい。新規就農の若い子も応援したい」と、思いを語りました。

この日は、JAひがしみの管内で主に栽培されている桃太郎と麗夏を紹介。試食した市長は「とてもおいしいです」と感嘆しました。出荷は11月上旬まで続きます。



6月24日

## 災害時の資機材供給に関する協定

市と株式会社東海大阪レンタルは「災害時における応急対策資機材の供給に関する協定書」を締結しました。

この協定により、災害などが発生した場合、復興活動に必要な車両機械や建設・運搬・照明機材、発電機などの資機材を優先的に供給してもらうことができます。

この日、同取締役執行役員社長の濱田喜代巳さんと小坂市長が協定書に署名。小坂市長は「昨年は停電により酸素吸入器など命に関わる機器が使用できなくなり、非常に困惑しました。今後は、発電機を供給いただくことで乗り切ることができるので、感謝しています」と述べました。



6月19日

## 力を合わせて観光による地域づくりを

市内の経済団体や農業団体、金融機関、公共交通企業、観光協会、行政が集まり、地域が一体となって観光を盛り上げようと、恵那市版DMO（仮称）設立準備委員会設立総会が行われました。

DMOはDestination Management Organizationの略。観光、自然、食、芸能、風習など地域にある観光資源に精通し、観光による地域づくりを行う法人のこと。

日本版DMOは平成30年12月時点で223法人。県内では既存組織をDMO化した6団体が登録されています。市でも、本年度中にDMO候補法人として登録できるよう、取り組みを進めています。



7月18日

## おいしいね地元食材いっぱい給食

第1回「えないっぱい給食」の試食会があり、東野小学校で、生産者や市長が児童らと交流しながら給食を楽しみました。

「えないっぱい給食」は、地産地消をさらに進め、子どもたちに地域の食材や食文化を知ってもらおうと企画され、市内の全小中学校に提供されました。

この日の献立は、エーナチキンカレー、大豆と小魚のエゴマがらめ、申原こんにゃくサラダ、ユズはちみつ寒天ゼリー。野菜生産者の林雪枝さんは「自分たちの野菜が給食となって食べてもらえるのを見て、とてもうれしい。これからも頑張って作り、責任を持って届けたい」と喜びました。



7月3日

## 副業で市内企業と都市部人材を結び

都市部で働きながら地方で副業ができるよう、都市部の優秀な人材と地方の中小企業を結び付けるサービス「Skill Shift」の恵那受付窓口が設置されました。

これは、人材サービス業を行う株式会社grooves（東京都）、恵那ビジネスサポートセンター運営協議会、市の三者が協定を結び、新しく取り組むものです。

恵那くらしビジネスサポートセンターでは受付窓口を設け、人材不足に悩む市内の企業の相談に応じます。株式会社groovesは、地域貢献などに関心がある都市部の優秀な人材を確保して、市内の中小企業とマッチングしていきます。



7月2日

## プロの料理技術を間近で体感

上矢作中学校で、プロの料理人による料理教室が行われました。これは、調理実習やプロの技術を体験することを通して、食に親しみ、興味を持つきっかけにしようとしたものです。講師は、日本料理おか田の岡田修さん。サーモンの三枚おろしやかつつお節のだしの取り方など、プロの技を披露しました。

生徒たちは、岡田さんのだし汁を使って、更紗マスの包み焼き、ホウレンソウのお浸し、豚汁を作りました。終了後には「楽しかった。これからは家でも料理をしたい」との声も聞かれました。この料理教室は、今後、市内全中学校で実施されます。



6月24日

## スケート冬季国体に向け準備始まる

令和3年1月28日(木)から4日間、恵那スケート場で、第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（スピード）が開催されます。大会に向けて実行委員会が設立され、運営方針、事業計画などが話し合われました。

平成24年の同大会では延べ3万3千人がスケート場に来場し、熱戦に声援を送りました。今回も、温かく心のこもったおもてなしで、選手や関係者を迎えることを確認しました。

今年は、12月6日(金)から8日(日)まで、リハーサル大会としてジャパンカップが開催される予定です。